

# **別冊**

## **令和7年度活動報告書**

**熊本県地域医療支援機構／  
熊本大学病院 地域医療支援センター**

**熊本県地域医療連携ネットワーク構築支援事業**

**感染症対応実践学寄附講座**

# 令和7年度熊本県地域医療連携 ネットワーク構築支援事業

## 1. 実施体制

| 部門    | 診療科名         | 特任教員<br>(ネットワーク推進医リーダー)        | 職名    | 派遣先拠点病院                            |
|-------|--------------|--------------------------------|-------|------------------------------------|
| 内科    | 腎臓内科         | 泉 裕一郎                          | 特任准教授 | (統括医) 宇城総合病院                       |
| 内科    | 呼吸器内科        | 猪山 慎治                          | 特任助教  | 小国公立病院<br>人吉医療センター                 |
| 内科    | 呼吸器内科        | 坂田 晋也                          | 特任助教  | 阿蘇医療センター<br>有明医療センター               |
| 内科    | 呼吸器内科        | 赤池 公孝                          | 特任助教  | 小国公立病院<br>山鹿市民医療センター               |
| 内科    | 呼吸器内科        | 福嶋 一晃                          | 特任助教  | 上天草総合病院                            |
| 内科    | 消化器内科        | 飯尾 悦子                          | 特任助教  | 有明医療センター                           |
| 内科    | 消化器内科        | 松野 健司                          | 特任助教  | そよう病院                              |
| 内科    | 消化器内科        | 岩崎 肇                           | 特任助教  | 阿蘇医療センター                           |
| 内科    | 血液内科、膠原病内科   | 坂田 康明                          | 特任助教  | 熊本総合病院                             |
| 内科    | 糖尿病・代謝・内分泌内科 | 小野 薫                           | 特任助教  | 小国公立病院<br>上天草総合病院                  |
| 内科    | 循環器内科        | 山本 正啓                          | 特任助教  | 上天草総合病院                            |
| 内科    | 循環器内科        | 緒方 文彦                          | 特任助教  | 公立多良木病院                            |
| 内科    | 脳神経内科        | 川本 佳右                          | 特任助教  | 宇城総合病院                             |
| 外科    | 消化器外科        | 北野 雄希                          | 特任助教  | 水俣市立総合医療センター                       |
| 外科    | 消化器外科        | 山尾 宣暢                          | 特任助教  | 公立多良木病院                            |
| 外科    | 乳腺・内分泌外科     | (4/1～8/30 後藤 理沙)<br>9/1～ 日高 香織 | 特任助教  | くまもと県北病院                           |
| 外科    | 泌尿器科         | 原田 成美                          | 特任助教  | 人吉医療センター                           |
| 外科    | 泌尿器科         | 西澤 秀和                          | 特任助教  | 小国公立病院                             |
| 成育医療  | 小児科          | 宮村 文弥                          | 特任助教  | 小国公立病院<br>水俣市立総合医療センター<br>有明医療センター |
| 成育医療  | 産婦人科         | (4/1～5/30 楠木 槇)<br>6/1～ 柚原 冴子  | 特任助教  | 熊本総合病院                             |
| 感覚・運動 | 整形外科         | 湯上 正樹                          | 特任助教  | 阿蘇医療センター                           |
| 感覚・運動 | 整形外科         | 米満 龍史                          | 特任助教  | そよう病院                              |
| 感覚・運動 | 整形外科         | 杉本 一樹                          | 特任助教  | 小国公立病院                             |

## 2. 事業実績（概要）

---

### （1）拠点病院の医療機能向上及び地域内の医療機関間の連携強化

院内に配置した特任教員23名について、内科部門から13名（呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科・膠原病内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科）、外科部門から5名（消化器外科、乳腺・内分泌外科、泌尿器科）、成育医療部門から2名（小児科、産婦人科）、感覚・運動部門から3名（整形外科）をネットワーク推進医として地域医療拠点病院（以下「拠点病院」）に派遣した。

同ネットワーク推進医は、各拠点病院の要望に応じて、週1～2回、定期的に専門医療を実践し、拠点病院の医療機能の向上を図るとともに、医療機関間の連携強化に努めた。

### （2）熊本県医師修学資金貸与医師や自治医科大学卒業医師の地域勤務とキャリア形成の両立に向けた支援

熊本県医師修学資金貸与医師や自治医科大学卒業医師への支援・指導については、実地の診療を通して専門的知識を提供し、手技を指導する形で医療技術の向上と医療実務経験年数に応じたキャリア支援を行った。

また、学術総会への参加の促進、発表の支援も実施した。ネットワーク推進医の配置が、若手医師の教育体制を強化し、拠点病院での研修を希望する医師の増加に貢献していると報告を受けているため、地域勤務とキャリア形成の両立に向けた支援を実施した。

### （3）圏域における医療機能の向上に関する調査・研究

圏域における医師を対象とした講演会や、メディカルスタッフを対象とした勉強会を開催し、専門的知識の不及と研究に努めた。さらに、ICTを活用した医療情報連携ネットワークであるくまもとメディカルネットワーク（KMN）の各施設における普及支援を行った。また、患者への地域完結型の質の高い医療を提供することにより、圏域の医療機能の向上に向けた支援を実施した。

### 3. ネットワーク推進医（特任教員）の事業実績報告

---

ネットワーク推進医（特任教員）の派遣先拠点病院での活動状況や成果などの令和7年度実績報告につきましては、下記の各部門 QR コードよりご参照いただけます。

- 内科部門

腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、  
血液内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、  
循環器内科、脳神経内科



---

- 外科部門

消化器外科、乳腺・内分泌外科、泌尿器科



---

- 成育医療部門

小児科、産婦人科



---

- 感覚・運動部門

整形外科



# 感染症対応実践学寄附講座

令和 7 年度における感染症対応実践学寄附講座の診療支援、感染対策、抗菌薬適正使用、地域連携、教育・研究活動を整理したものであり、令和 7 年度中に実施したセミナー・講演会に加え、年度内に学会発表・論文文化へ進展した感染症関連研究を記載しています。

## 1. 活動概要

### 【スタッフ一覧】

| 役職          | 氏名     | 主所属                 | 資格・専門領域                                                                                         |
|-------------|--------|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教授<br>(兼任)  | 安永 純一郎 | 血液・膠原病・<br>感染症内科学講座 | 日本血液学会評議員、日本癌学会評議員、日本 HTLV-1 学会評議員、日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医、日本血液学会認定血液指導医        |
| 准教授<br>(兼任) | 中田 浩智  | 感染制御部／<br>感染免疫診療部   | インфекションコントロールドクター (ICD)、抗菌化学療法指導医、日本エイズ学会認定指導医、日本感染症学会認定感染症専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医・指導医 |
| 特任講師        | 岩永 栄作  | 感染症対応実践学<br>寄附講座    | 日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本血液学会認定血液専門医・指導医                                                             |
| 特任助教        | 古田 梨愛  | 感染症対応実践学<br>寄附講座    | 日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医、日本血液学会認定血液専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会認定血液指導医                                |
| 特任助教        | 岡林 比呂子 | 感染症対応実践学<br>寄附講座    | 日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、難病指定医、身体障害者福祉法指定医                        |

### 【寄附講座設置概要】

新興感染症、再興感染症、薬剤耐性菌 (AMR)、災害時感染対策など、地域医療において対応すべき感染症課題は多様化している。新型コロナウイルス感染症への対応で明らかになったように、感染症診療・感染制御・地域連携を担う医師およびメディカルスタッフの育成は、熊本県全域の医療体制を維持する上で重要な課題である。

本講座は、熊本県全域で感染症に対応できる医療体制の連携・強化を目的として、熊本大学病院の感染症専門医、血液内科・呼吸器内科などの関連診療科、感染制御部と協力し、病院一体となって講座運営・教育を実施している。地域の医療従事者、介護・福祉関係者、行政担当者に対するセミナー・講演会を継続し、県内各地域における感染症対応力の向上を図る。

## 2. 年間活動実績

| 月    | 活動内容                        | 概要                                                                                                                                                                            |
|------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 通年   | 新型コロナウイルス感染症・重症感染症診療        | 重症患者受け入れ、血液内科・感染症領域の重症感染症診療支援、院内外からの感染症コンサルテーションへの対応。                                                                                                                         |
| 通年   | 一般感染対策・抗菌薬適正使用              | ICT コンサルト、AST 会議（毎週火曜）、ICT ラウンド（毎週木曜）、院内感染対策・抗菌薬適正使用支援、インフルエンザ・新型コロナウイルスワクチン接種支援。                                                                                             |
| 通年   | 感染症リカレント教育コース               | 先端ウイルス学、院内感染制御、災害時感染対策等に関する教育コンテンツの整備・活用。医学生・医療スタッフを対象とした感染対策教育を継続。                                                                                                           |
| 8 月  | 天草郡市三師会講演会                  | 令和 7 年 8 月 30 日、天草地域医療センターにて「日本の新しい薬剤耐性（AMR）対策－アクションプランについて－」を講演。医師・歯科医師・薬剤師を対象とした地域連携型の AMR 啓発。                                                                              |
| 11 月 | 第 95 回日本感染症学会<br>西日本地方会学術集会 | 令和 7 年 11 月 29 日、福岡国際会議場にて「急性骨髄性白血病治療中に合併した劇症型 <i>Clostridioides difficile</i> 感染症の一剖検例」をポスター発表。                                                                              |
| 1 月  | 第 352 回<br>日本内科学会九州地方会      | 令和 8 年 1 月 24 日、九州大学医学部百年講堂にて「造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス感染症に対するマリバピルの使用経験」を発表。                                                                                                       |
| 1 月  | 英文症例報告の出版                   | 令和 8 年 1 月 23 日、Cureus に「Fulminant <i>Clostridioides difficile</i> Infection During Repeated High-Dose Cytarabine Consolidation for Acute Myeloid Leukemia: A Fatal Case」を出版。 |
| 3 月  | 令和 7 年度<br>後期感染症セミナー        | 令和 8 年 3 月 1 日、熊本城ホール＋Web 配信のハイブリッド形式で「地域で担う感染症対策～感染症診療とワクチンが果たす役割～」を開催。                                                                                                      |

## 3. 活動報告

### 【セミナー・講演会の開催／地域連携】

感染症対応実践学寄附講座では、医療者、行政担当者、介護・福祉関係者を含む多職種を対象としたセミナーを年 2 回以上企画・実施し、地域医療における感染症対応力の底上げを目的として活動している。令和 7 年度は、AMR 対策を中心とした地域講演に加え、感染症診療とワクチンをテーマとする後期感染症セミナーを企画した。

● 天草郡市三師会講演会

令和7年8月30日、天草地域医療センター1階「ヒポクラート」において、天草郡市医師会・歯科医師会・薬剤師会の共催による三師会講演会が開催された。特別講演Ⅱとして、岩永特任講師が「日本の新しい薬剤耐性（AMR）対策－アクションプランについて－」を講演し、地域医療における抗菌薬適正使用、AMR アクションプラン、診療所版 J-SIPHE/OASCIS などの意義を共有した。

## 天草郡市三師会講演会

【日本医師会生涯教育講座 単位取得予定】  
CC73：慢性疾患・複合疾患の管理（0.5単位）、CCR：感染対策（1単位）

【日本歯科医師会生涯研修事業 単位取得予定】  
日歯生涯研修事業の単位取得のために受講研修登録用「ICカード」をお持ちください。

【日本薬剤師研修センター認定1.0単位 取得予定】  
日本薬剤師研修センター認定単位取得にはPECS稼働の為、自身のQRコードを印刷し、会場までお持ちください。

拝啓 時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
さてこの度、「天草郡市三師会講演会」を下記のとおり、開催させていただき運びとなりました。  
ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。  
敬具

**日時** 令和7年8月30日（土）16:50～18:30

**会場** 天草地域医療センター1F「ヒポクラート」  
〒863-0046 熊本県天草市亀場町食場854-1

**情報提供**（16:50～17:00）  
『酪酸菌製剤 ミヤBM® 細粒・錠の特徴と有用性について』 ミヤリサン製薬株式会社

**特別講演Ⅰ**（17:00～17:30）

**座長** 内崎 祐一 先生 内崎歯科医院 院長

**歯性感染症と全身疾患の関わり  
＝人生100年時代に求められる口腔機能管理＝**

**演者** 吉田 遼司 先生  
熊本大学大学院 生命科学部 歯科口腔外科学講座 准教授

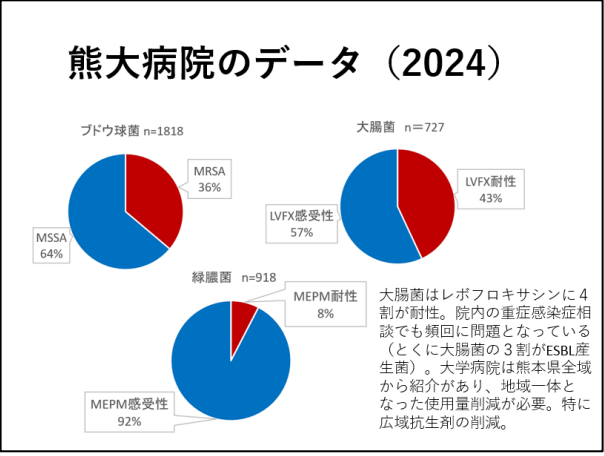
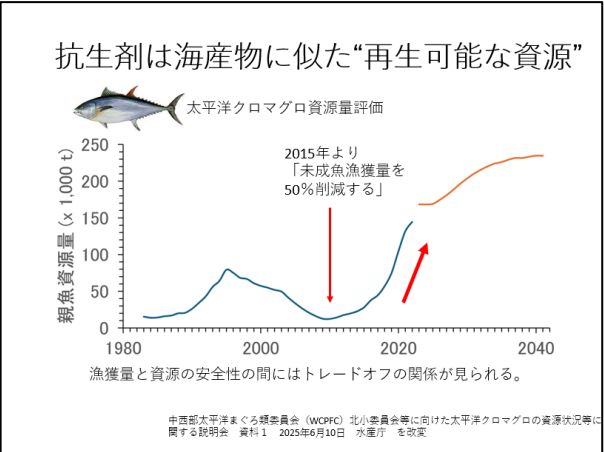
**特別講演Ⅱ**（17:30～18:30）

**座長** 中山 雅文 先生 中山内科・循環器内科クリニック 院長

**日本の新しい薬剤耐性(AMR)対策  
－アクションプランについて－**

**演者** 岩永 栄作 先生  
熊本大学病院 血液・膠原病・感染症内科 感染症対応実践学寄附講座 特任講師

共催：天草郡市医師会 / 天草郡市歯科医師会 / 天草郡市薬剤師会  
株式会社アステム / ミヤリサン製薬株式会社



● 熊本大学病院 令和7年度後期感染症セミナー

令和8年3月1日に熊本城ホール3F A-1会議室およびWeb配信によるハイブリッド形式で開催した。テーマは「地域で担う感染症対策～感染症診療とワクチンが果たす役割～」であり、地域医療における感染症内科の役割、ワクチンを通じた予防と保健について、医療・福祉関係者および一般参加者を対象に情報提供を行った。

|     | 演題                                | 講師                                  |
|-----|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 講演1 | 地域医療で感染症内科ができること、<br>感染症内科とできること  | 武藤 義和 先生<br>(公立陶生病院 感染症内科 主任部長)     |
| 講演2 | ワクチンが変える、ワクチンが変わる、<br>ワクチンとともに変わる | 森内 浩幸 先生<br>(長崎大学高度感染症研究センター センター長) |

熊本大学病院 令和7年度後期感染症セミナー  
地域で担う感染症対策  
～感染症診療とワクチンが果たす役割～

日本医師会生涯教育講座I単位【CCI1:予防と保健、CCI2:地域医療】

日時 令和8年3月1日(日) 11:00～12:40

場所 熊本城ホール 3F A-1会議室 (熊本市中央区桜町3-40)

本セミナーは会場参加とWEB配信を選択いただけるハイブリッド開催となります

対象者 高齢者介護・福祉事業従事者、医療従事者  
※医療・福祉関係者向けの内容ですが、一般の方の参加も歓迎いたします。奮ってご参加ください。

参加無料  
(事前申込制)  
※定員枠  
会場参加100名  
WEB参加200名

プログラム

座長: 坂上 拓郎  
熊本大学大学院 生命科学研究所 呼吸器内科学講座 教授 CCI2:地域医療 0.5単位

講演1  
(11:00～11:40)  
『地域医療で感染症内科ができること、  
感染症内科とできること』  
質疑応答  
(11:40～11:45)  
講師: 武藤義和 公立熊本病院 感染症内科 主任部長

座長: 安永 純一朗  
熊本大学大学院 生命科学研究所 血液・膠原病・感染症内科学講座 教授 CCI1:予防と保健 0.5単位

講演2  
(11:45～12:35)  
『ワクチンが変わる、ワクチンが変わる、  
ワクチンとともに変わる』  
質疑応答  
(12:35～12:40)  
講師: 森内 浩幸 長崎大学高度感染症研究センター センター長

主催: 熊本大学病院 感染症対応実践学寄附講座  
後援: 熊本県医師会、熊本市医師会  
※感染症対応実践学寄附講座は熊本県医師会により設置された寄附講座です。 ©2020 熊本県くまモン  
参加申し込み方法は裏面をご確認ください



## 【学会発表・研究活動】

令和7年度は、血液疾患診療に関連した重症感染症・移植後感染症を中心に、症例報告および学会発表を行った。感染症対応実践学寄附講座の特徴である、血液内科診療と感染症診療の接点における実臨床課題を、地域・学会へ発信した点が特徴である。

### ● 劇症型 Clostridioides difficile 感染症の一部検例

AML に対する大量シタラビン地固め療法中に、再発 CDI が急速に劇症化し死亡に至った症例を解析した。便検査で GDH 抗原・トキシン A/B 陽性、PCR で toxin B 陽性、変異型 tcdC および binary toxin 陰性であり、剖検では結腸から直腸にかけて偽膜性大腸炎を認めた。好中球減少期、高強度化学療法、抗菌薬曝露、低アルブミン血症などが重なった高リスク例であり、初発・再発 CDI におけるフィダキソマイシンまたはバンコマイシンの適切な選択、劇症型では経口/経管バンコマイシンとメトロニダゾール静注を含む早期治療介入の重要性を示した。

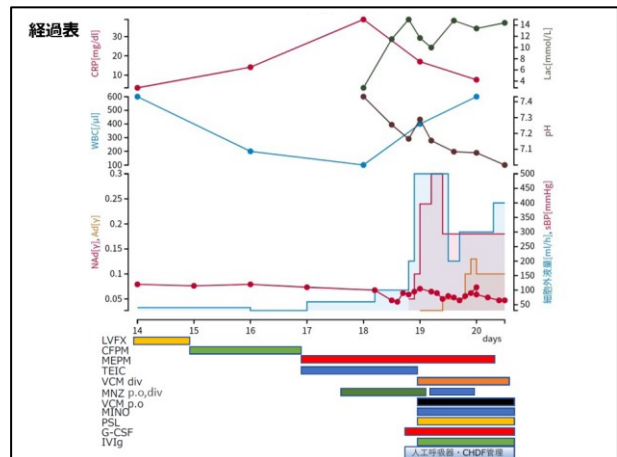
- 第95回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第73回日本化学療法学会西日本支部総会：一般演題（ポスター）「急性骨髄性白血病治療中に合併した劇症型 Clostridioides difficile 感染症の一部検例」
- 英文症例報告：Iwanaga E, Nakata H, Furuta R, Tokunaga K, Yasunaga J. Fulminant Clostridioides difficile Infection During Repeated High-Dose Cytarabine Consolidation for Acute Myeloid Leukemia: A Fatal Case. Cureus. 2026;18(1):e102177.

## 症例 69 歳 女性

【現病歴】X-1年10月に急性骨髄性白血病(AML)を発病。11月よりダウノルビシンとシタラビンによる寛解導入療法を受け、寛解となった。12月より大量シタラビンによる地固め療法が開始された。2コース目の地固め療法目的にX年2月1日に入院、2月10日より大量シタラビン療法が開始された。

【既往歴】 *Clostridioides difficile*感染症：  
地固め療法1コース目に合併、軽症でメトロニダゾールにより治癒

【家族歴】特記事項なし



感染症学会西日本地方会での CDI 症例発表スライド

**Cureus**  
Part of SPRINGER NATURE

Open Access Case Report

## Fulminant *Clostridioides difficile* Infection During Repeated High-Dose Cytarabine Consolidation for Acute Myeloid Leukemia: A Fatal Case

Review began 01/05/2026

Review ended 01/20/2026

Published 01/23/2026

© Copyright 2026

Iwanaga et al. This is an open access article distributed under the terms of the Creative Commons Attribution License CC-BY 4.0., which permits unrestricted use, distribution, and reproduction in any medium, provided the original author and source are credited.

DOI: 10.7759/cureus.102177

Eisaku Iwanaga <sup>1</sup>, Hiroto Nakata <sup>1</sup>, Rie Furuta <sup>1</sup>, Kenji Tokunaga <sup>1</sup>, Jun-Ichirou Yasunaga <sup>1</sup>

<sup>1</sup>. Department of Hematology, Rheumatology, and Infectious Diseases, Kumamoto University Hospital, Kumamoto, JPN

Corresponding author: Eisaku Iwanaga, sakusaku6554@gmail.com



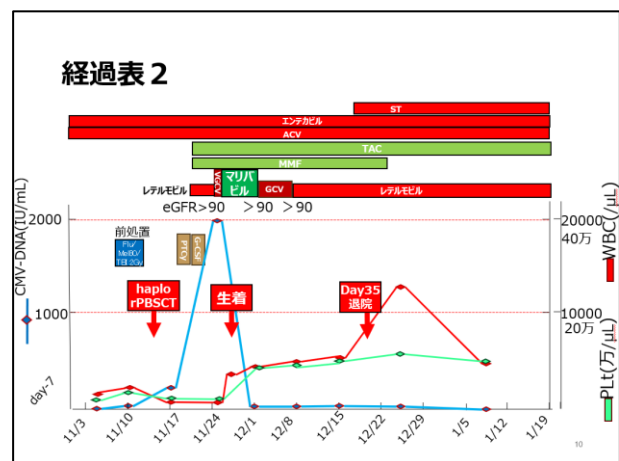
**FIGURE 1: Contrast-enhanced abdominal CT on day 18 revealed marked edematous wall thickening from the rectum to the ascending colon (long arrows), with pericolic fat stranding (arrowheads) and ascites (short arrows). No perforation or abscess formation was identified. Mucosal enhancement was preserved**

CT: computed tomography

### ● 造血幹細胞移植後 CMV 血症に対するマリバビルの使用経験

ATL に対する同種造血幹細胞移植後、レテルモビル予防下にブレイクスルーCMV 血症を来した 3 例について、マリバビルを含む抗 CMV 治療の使用経験をまとめた。ガンシクロビルやホスカルネットの問題となる血球減少・腎障害を回避しうる選択肢として、移植早期におけるマリバビルの有用性を示唆する内容である。

- 本内科学会第 352 回九州地方会：一般演題「造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス感染症に対するマリバビルの使用経験」



日本内科学会九州地方会での CMV 症例発表スライド

## 4. 令和 7 年度活動の総括と今後の課題

令和 7 年度は、AMR 対策、CDI、移植後 CMV 感染症、ワクチン・地域感染症診療を中心に、診療・教育・研究を連動させた活動を展開した。AMR 対策については、天草地域での講演を通じて、病院だけでなく診療所・歯科・薬局を含む地域単位での抗菌薬適正使用の重要性を共有した。

研究面では、AML 化学療法中の劇症型 CDI 症例を学会発表から英文論文へ進め、血液疾患治療中の感染症管理に関する教訓を国際的に発信した。また、造血幹細胞移植後の CMV 血症に対するマリバビル使用経験を報告し、移植医療における感染症診療の新たな治療選択肢を検討した。

今後は、県内の医療機関・医師会・歯科医師会・薬剤師会・行政との連携をさらに強化し、AMR サーベイランス、感染症診療支援、ワクチン啓発、災害時感染対策を横断的に推進する。特に、診療所版 J-SIPHE/OASCIS 等を活用した地域データの収集と還元、地域の実情に合わせた抗菌薬適正使用支援、高齢者施設・介護福祉領域を含む感染対策教育の充実を重点課題とする。



熊本県地域医療支援機構／熊本大学病院 地域医療支援センター

〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘 1-1-1

Tel : 096-373-5627 Fax : 096-373-5796

E-mail : [chiiki-iryo@kumamoto-u.ac.jp](mailto:chiiki-iryo@kumamoto-u.ac.jp)

HP : <http://www.chiiki-iryo-kumamoto.org/>

